

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2022年1月25日

対外セクター概況 - 2021年11月

概要

2021年11月の輸出収益は史上最高を記録、6か月連続で10億米ドルを上回った。一方で輸入支出は前年同月比で増加。輸出増の好影響から、商品貿易赤字は前年同月の6.00億米ドルから2021年11月は5.53億米ドルに縮小。観光客数は前月から顕著に増加、回復の兆しを強く示し、勢いが続いている。国外労働者からの送金はさらに緩やかとなった。インターバンク市場の平均スポット為替レートは、1米ドル=202ルピー前後で推移。

表1：対外セクター 実績 サマリー

カテゴリー	2020年 11月 100万米ドル	2021年 11月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~11月 100万米ドル	2021年 1~11月 100万米ドル	推移 (%)
商品輸出	784	1,211	54.6	9,083	11,345	24.9
商品輸入	1,384	1,765	27.5	14,529	18,396	26.6
貿易収支	-600	-553		-5,446	-7,051	
観光収入	-	60	-	682	141	-79.3
国外労働者からの送金	612	271	-55.6	6,291	5,166	-17.9
CSEへの純流入	-15	-20		-209	-242	
政府への総流入	90	84.00		1,904	2,065	
国債	1	-		103	16	
長期ローン	89	84		1,801	2,049	
外国直接投資（総額）				543	567	
合計				-2,203	-3,674	

出典：スリランカ税関当局 (SLC)、スリランカ観光開発委員会 (SLTDA)、コロンボ証券取引所(CSE)、  
スリランカ投資委員会(BOI)、スリランカ中央銀行(CBSL)

【仮訳】

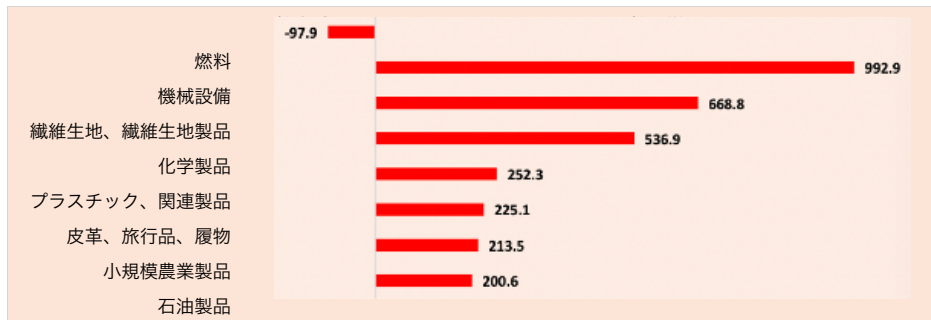
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

貿易収支と貿易指標

**貿易収支：**貿易赤字は、前年同月の6.00億米ドルから5.53億米ドルに縮小。一方、2021年1～11月累計の貿易赤字は前年同期の54.46億米ドルから70.51億米ドルに拡大。主な要因は図1のとおり。

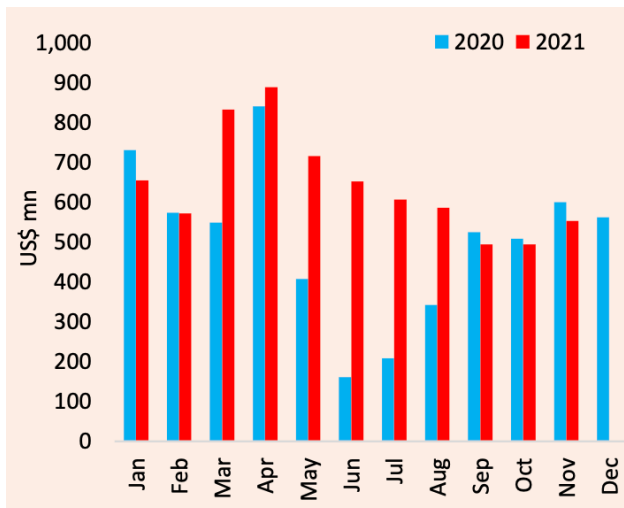
**貿易指標：**貿易指標（輸出価格と輸入価格の比率）は、輸入価格の上昇が輸出価格の上昇を上回り、前年同月比で8.1%悪化。

図1：2021年1～10月期 前年同期比 貿易赤字拡大主要因（百万米ドル）



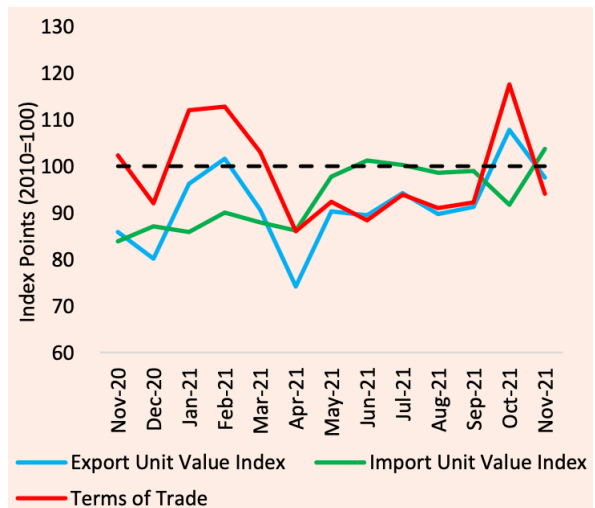
出典：SLC、CBSL

図2：月別貿易赤字（2020～21年）



出典：SLC、CBSL

図3：貿易指標（2020～21年）



出典：CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

### 商品輸出

**輸出全般：**前月に記録したこれまでの最高額（12.00 億米ドル）を上回り、2021 年 11 月の輸出収益は前年同月比 54.6%増の 12.11 億米ドルに達した。主要カテゴリーすべてで輸出収益が増加したが、主に工業製品輸出が増加に寄与。2021 年 1～11 月累計輸出収益は、前年同期比 24.9%増の 113.45 億米ドル。

**工業製品輸出：**工業製品輸出収益は前年同月比 56.6%増。繊維衣料品、石油製品、ゴム製品、動物飼料などほとんどの品目で大幅な増加を記録。一方で、プラスチックおよびプラスチック関連品（主にプラスチック製衣料品）では減少。繊維衣料品の輸出はすべての主要市場向けで改善。石油製品輸出は、バンカー燃料と航空燃料の価格上昇、バンカー燃料の輸出量増加により収益が増加。ゴム製品では、タイヤと手袋が輸出額増加を牽引。動物飼料は主に小麦残渣が増加。

**農産品輸出：**農産品輸出収益は、主に水産物（主に生鮮・冷凍マグロ）、紅茶（主にパック入り紅茶）、スパイス（主にコショウ）、ココナッツ（主に乾燥・繊維・オイル）の輸出増により、前年同月比 46.9%増。紅茶の輸出収益は、単価はやや下落したが数量が増加（27.9%増）し、前年同月比 22.3%増加。

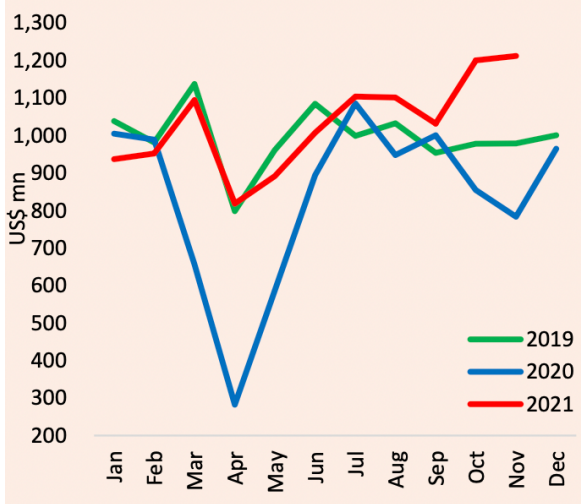
**鉱物資源輸出：**鉱物資源は土類や木金属の収益が増加し、前年同月比 49.0%増加。

**輸出指標：**前年同月比で輸出量指数は 36.0%増、単価指数は 13.7%増。前年同月比での輸出額増は相対的に輸出量増加によることがわかる。

【仮訳】

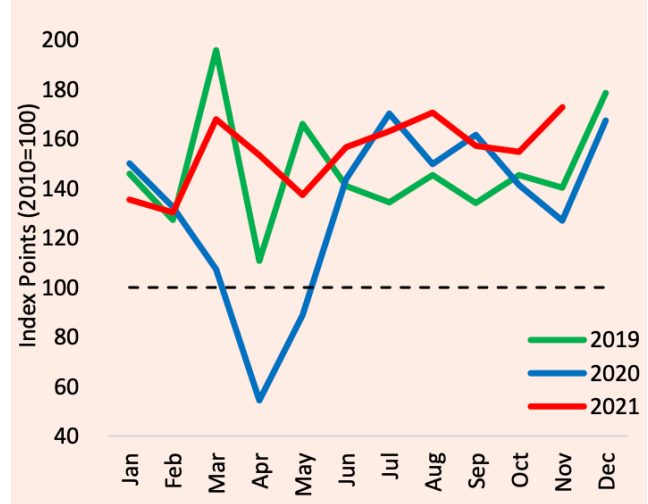
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 4：月別輸出実績



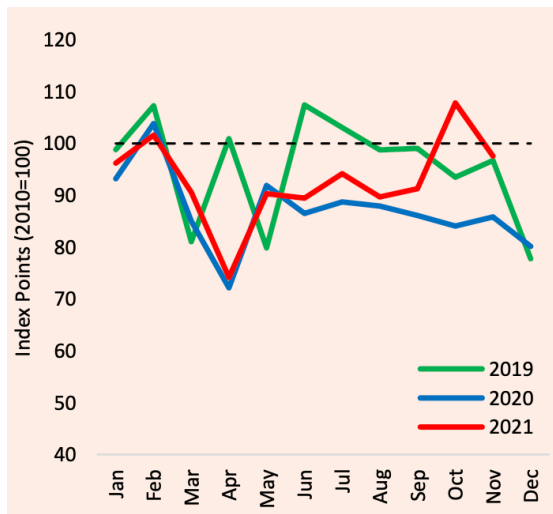
出典：SLC、CBSL

図 5：月別輸出量指標



出典：CBSL

図 6：月別輸出単価指標



出典：CBSL

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 2：商品輸出収益

カテゴリー	2020年 11月 100万米ドル	2021年 11月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1～11月 100万米ドル	2021年 1～11月 100万米ドル	推移 (%)
<b>1. 工業製品輸出</b>	<b>597.4</b>	<b>935.4</b>	<b>56.6</b>	<b>6,916.5</b>	<b>8,788.4</b>	<b>27.1</b>
食品・飲料・タバコ	35.0	52.7	50.6	422.7	529.5	25.3
動物飼料	6.5	38.6	494.2	95.1	137.1	44.2
繊維衣料品	326.2	498.1	52.7	3,971.3	4,901.9	23.4
衣料品	281.4	455.4	61.9	3,526.7	4,466.7	26.7
生地	26.1	31.1	19.0	234.0	316.6	35.3
その他繊維衣料品	18.8	11.6	-38.2	210.5	118.6	-43.6
ゴム製品	66.4	98.9	49.0	711.2	960.2	35.0
宝石・ダイヤモンド・宝飾品	23.6	27.8	17.6	162.8	256.5	57.6
機械・機械器具	31.9	45.6	43.0	298.0	457.7	53.6
輸送用機器	5.9	12.1	105.7	64.6	138.6	114.6
石油製品	21.3	59.1	177.7	342.4	455.4	33.0
化学製品	16.3	19.4	19.2	156.0	201.5	29.1
木材・紙製品	7.1	12.3	74.0	89.6	117.9	31.7
印刷業製品	4.5	5.7	26.5	43.4	47.5	9.4
皮革・旅行品・履物	2.5	7.5	199.1	49.5	52.0	5.0
プラスチック関連品	21.1	8.2	-61.1	170.3	72.4	-57.5
ベースメタル関連品	8.4	16.6	96.8	98.8	141.3	43.1
セラミック製品	2.6	3.4	29.8	20.8	34.4	65.2
その他工業製品輸出	18.1	29.4	62.8	220.2	284.5	29.2
<b>2. 農産品輸出</b>	<b>183.1</b>	<b>268.9</b>	<b>46.9</b>	<b>2,132.9</b>	<b>2,497.2</b>	<b>17.1</b>
紅茶	96.2	117.6	22.3	1,128.0	1,213.7	7.6
ゴム製品	3.2	3.3	3.1	25.5	38.9	52.7
ココナッツ	28.6	40.8	42.7	318.4	393.9	23.7
スパイス	33.8	46.6	38.1	300.4	411.1	36.8
野菜	2.0	3.6	78.3	34.9	26.3	-24.7
非加工タバコ	1.3	5.1	304.5	23.0	29.5	28.4
小規模農産品	7.6	16.9	123.9	127.3	136.4	7.1
海産物	10.5	34.9	233.6	175.4	247.4	41.0
<b>3. 鉱物資源輸出</b>	<b>2.3</b>	<b>3.5</b>	<b>49.0</b>	<b>20.5</b>	<b>39.5</b>	<b>92.8</b>
<b>4. 非分類品輸出</b>	<b>0.9</b>	<b>3.6</b>	<b>315.5</b>	<b>13.1</b>	<b>20.3</b>	<b>55.4</b>
<b>輸出合計</b>	<b>783.7</b>	<b>1,211.5</b>	<b>54.6</b>	<b>9,083.0</b>	<b>11,345.4</b>	<b>24.9</b>

出典：SLC、国立宝石宝飾品委員会 (NGJA)、国営セイロン石油公社 (CPC) 及び 他石油輸出者、CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

### 商品輸入

**輸入全般**：2021年11月の商品輸入支出は、前年同月の13.84億米ドルから27.5%増の17.65億米ドル。消費財、中間財、投資財の主要カテゴリーすべてで顕著な増加。2021年1～11月累計輸入収益は、前年同期の145.29億米ドルに対し、26.6%増の183.96億米ドル。

**消費財**：個人用車両の輸入が極端に少ないなか、食品と非食品の双方の消費財への支出が増加し、前年同月比19.7%増加。非食品消費財は、医療・医薬品（主にワクチン）、通信機器（主に携帯電話）、衣料アクセサリ（主に下着）、家電製品（主にテレビ、冷蔵庫）などの品目で増加。食品・飲料は、砂糖、穀類・精米製品（主にコメ）の輸入増により前年同月比で9.1%増加。一方、乳製品（主に粉ミルク）、野菜（主にダール豆、タマネギ）、油脂（主にココナッツオイル）、海産物（主に干魚）の輸入は減少。

**中間財**：主に燃料、繊維および繊維製品、ゴム及び関連製品、プラスチック及び関連製品の増加により、前年同月比で24.3%増加。燃料は、原油の輸入がなかったにも関わらず、精製石油の輸入量が前年同月比104.8%、価格が同53.7%増加し、同比78.0%増加。一方、肥料やベースメタル（主に鉄鋼）など一部品目の輸入は減少。

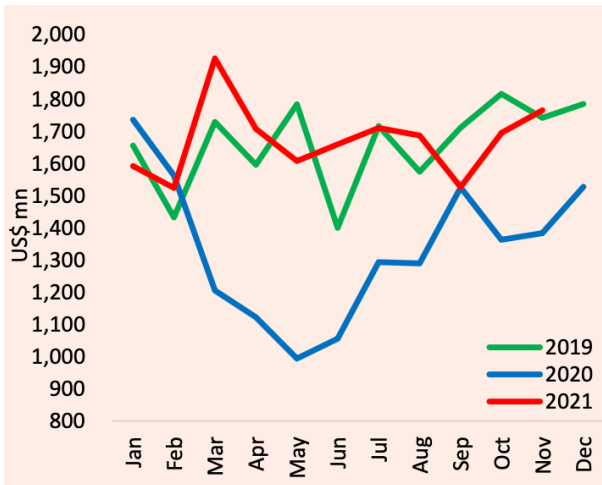
**投資財**：前年同月比で40.2%増加。機械設備、建設資材、輸送用機器の全消費財カテゴリーで顕著に増加。機械設備では、主に機械設備パーツや事務用機器、エンジニアリング機器、農業用機器、繊維生地産業機器が増加、変速機が減少。建設資材は、鉄・鋼鉄および関連製品が牽引して全品目で増加。輸送用機器では主に鉄道設備の輸入が増加。

**輸入指標**：前年同月比で輸入量指数は23.6%増、輸入量が3.1%増。前年同月比での輸入額増は主に価格の上昇の影響であることがわかる。

【仮訳】

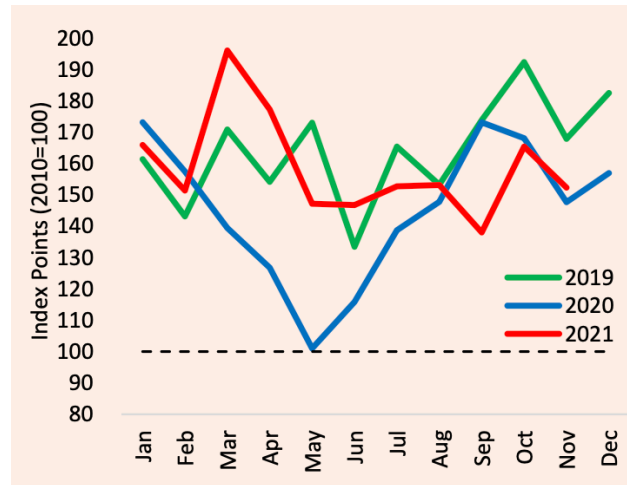
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 7：月別輸入実績



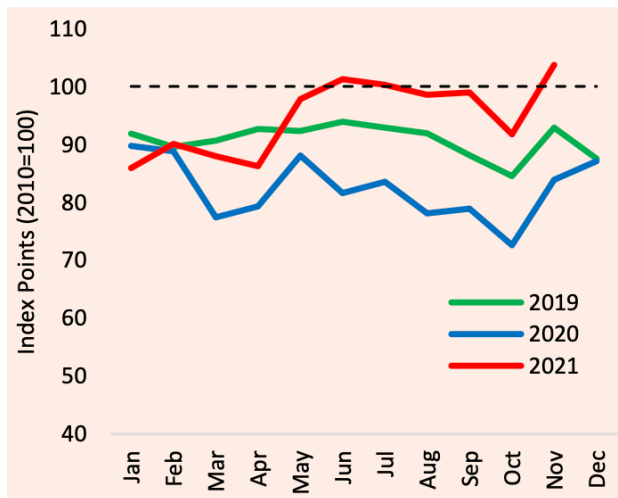
出典：SLC、CBSL

図 8：月別輸入量指標



出典：CBSL

図 9：月別輸入単価指標



出典：CBSL

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 3：商品輸入支出

カテゴリー	2020年 11月 100万米ドル	2021年 11月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~11月 100万米ドル	2021年 1~11月 100万米ドル	推移 (%)
<b>1. 消費財</b>	<b>255.5</b>	<b>305.8</b>	<b>19.7</b>	<b>3,073.9</b>	<b>3,429.4</b>	<b>11.6</b>
食品・飲料	124.6	135.9	9.1	1,396.3	1,495.3	7.1
穀類・精米製品	2.7	15.1	456.0	30.1	46.5	54.3
乳製品	29.4	10.0	-66.0	302.7	303.6	0.3
野菜	33.2	29.6	-10.9	313.3	351.1	12.1
海産物	10.7	9.3	-12.7	175.6	112.1	-36.2
砂糖・菓子類	14.0	30.6	118.4	247.4	255.5	3.3
スパイス	9.3	12.4	33.3	115.3	120.2	4.2
その他食品・飲料	25.2	28.9	14.5	211.9	306.4	44.6
非食品消費財	130.9	169.9	29.8	1,677.6	1,934.2	15.3
個人用車両	0.5	0.7	49.4	282.4	12.2	-95.7
医療・医薬品	46.9	64.6	37.7	540.5	754.0	39.5
家電製品	17.5	22.2	26.5	151.7	235.6	55.2
衣類アクセサリ	16.5	21.3	29.4	182.3	198.0	8.6
通信機器	20.4	28.2	38.2	231.1	351.9	52.3
家庭用品・家具	11.2	13.1	16.8	129.2	144.6	11.9
その他非食品消費財	17.9	19.8	10.7	160.3	237.9	48.4
<b>2. 中間財</b>	<b>818.3</b>	<b>1,017.2</b>	<b>24.3</b>	<b>8,211.6</b>	<b>10,940.7</b>	<b>33.2</b>
燃料	178.9	318.6	78.0	2,307.5	3,300.4	43.0
うち 原油	65.7	-	-	544.9	565.3	3.8
精製石油	98.1	308.6	214.6	1,579.3	2,500.1	58.3
石炭	15.1	10.0	-34.2	183.3	234.9	28.2
ダイヤモンド、貴石、貴金属	25.4	16.6	-34.6	106.1	129.8	22.3
繊維及び繊維製品	216.6	297.3	37.3	2,100.2	2,769.0	31.8
紙及び板紙、関連製品	34.4	39.0	13.5	346.5	431.3	24.5
農業資材	16.4	18.5	12.7	178.3	241.4	35.4
小麦・トウモロコシ	28.4	26.6	-6.3	342.5	388.0	13.3
ベースメタル	41.3	23.2	-43.9	426.6	678.9	59.1
プラスチック及び関連品	47.2	64.2	36.0	487.5	688.1	41.1
化学製品	79.5	85.3	7.3	749.4	974.5	30.0
肥料	67.0	1.4	-97.9	228.5	121.3	-46.9
ゴム及び関連製品	15.7	38.1	143.0	198.4	361.5	82.2
鉱物製品	12.1	19.2	59.2	155.6	145.1	-6.8
その他中間財	55.4	69.2	25.0	584.4	711.3	21.7
<b>3. 投資財</b>	<b>309.4</b>	<b>433.7</b>	<b>40.2</b>	<b>3,230.3</b>	<b>4,009.8</b>	<b>24.1</b>
機械設備	200.1	246.9	23.4	1,964.9	2,501.8	27.3
建設資材	78.7	120.7	53.4	930.9	1,124.8	20.8
輸送用機器	30.3	65.3	115.4	331.7	377.7	13.9
その他投資財	0.3	0.8	168.1	2.9	5.5	88.0
<b>4. 非分類品輸入</b>	<b>0.4</b>	<b>7.9</b>	<b>1,668.3</b>	<b>12.9</b>	<b>16.6</b>	<b>28.9</b>
輸入合計	1,383.7	1,764.6	27.5	14,528.7	18,396.4	26.6
うち 非燃料輸入	1,204.8	1,446.1	20.0	12,221.2	15,096.1	23.5

出典：SLC、CPC、Lanka IOC PLC、CBSL



【仮訳】

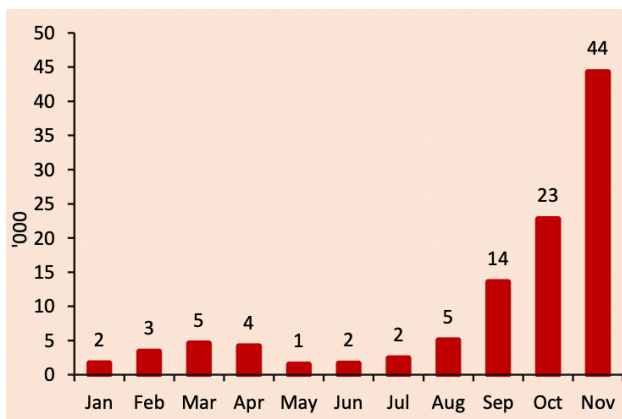
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

その他の主な経常収支への流入

**出稼ぎ労働者による国外からの送金：**2021年11月の出稼ぎ労働者による国外からの送金は減少。2021年11月の送金額は、前年同月の6.12億米ドルに対し2.71億米ドル。2021年1～11月累計の送金額は、前年同期比17.9%減の51.66億米ドル。2021年11月の国外就労を目的とした出国者数は前月比25.9%増の19,805人と増加を続けている。主にスキルワーカー（6,215人）、家事手伝い（5,507人）、非スキルワーカー（4,889人）。一方で、2021年12月の送金額は3.25億米ドル。2021年年間累計の送金額は、前年年間累計の71.04億米ドルに対し、54.91億米ドル。

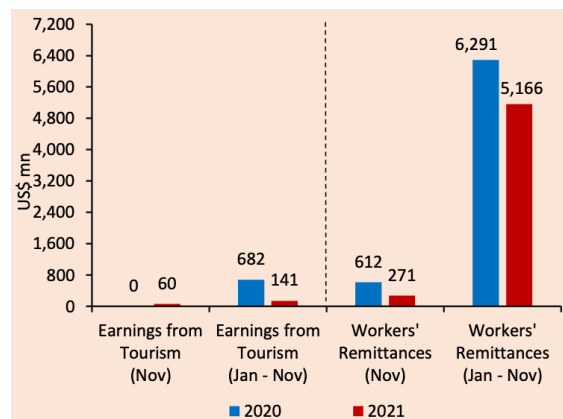
**観光客到着数：**2021年11月の観光客到着数は、前月の22,771人に対し44,294人。2021年1～11月累計の観光客数は104,989人、前年同期は507,311人だった。訪問観光客の主な出発国は、インド、イギリス、ロシア、ドイツ、パキスタン。2021年11月の推計観光収益は6,000万米ドル。2021年1～11月累計での観光収入は、前年同期の6.82億米ドルに対し、1.41億米ドルと推定。2021年12月の観光客到着数は89,506人を記録し、年間累計では、前年年間累計の507,704人に対し、194,495人。2021年12月の推計観光収益は1.2億米ドル。年間累計では、前年年間累計の6.82億米ドルに対し、2.61億米ドルと推定。

図 10：月別観光客到着数



出典：SLTDA

図 11：観光・送金収入



出典：SLTDA、認可銀行、CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

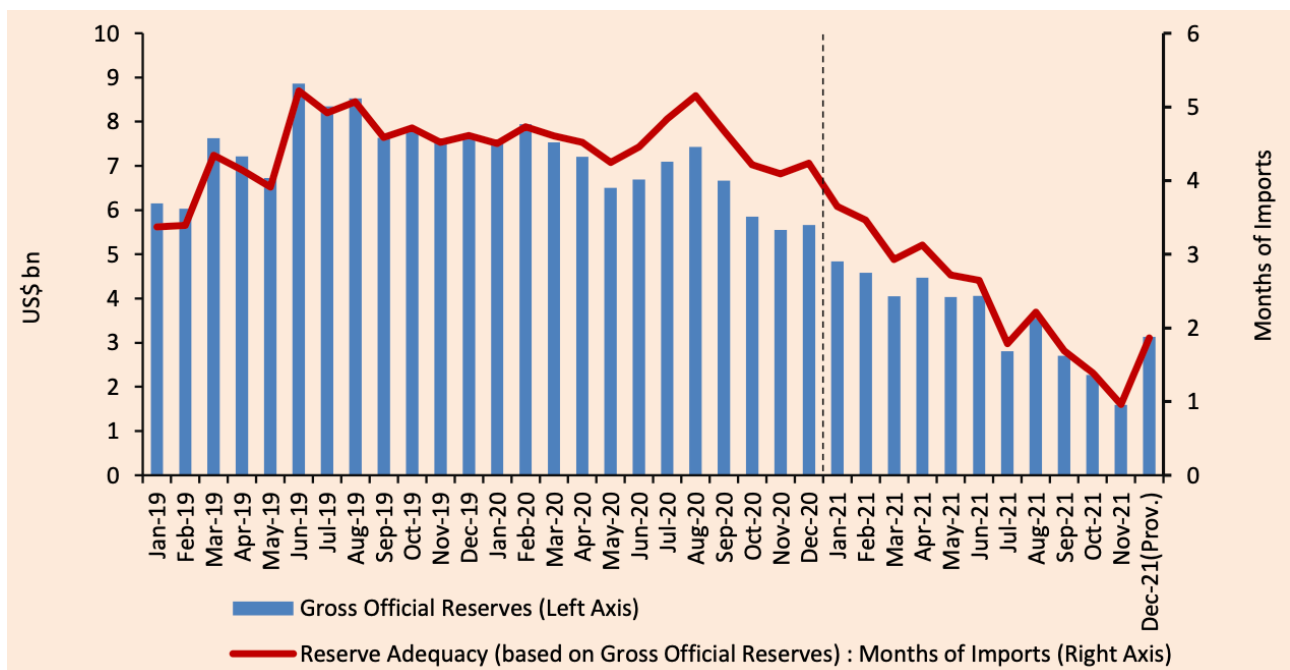
## 資金フロー

2021年11月の政府証券市場では、外国投資のわずかな純流出を記録。2021年1～11月累計での政府証券市場からの累積純流出額は2,800万米ドルで、2021年11月末時点でのエクスポージャー総額は900万米ドルと低水準のままに。一方、2021年11月のコロンボ証券取引所（CSE）からの純流出額は2,000万米ドル、2021年1～11月累計では2.42億米ドルの純流出。

## 公的準備高

2021年11月末の総公的準備金は、16億米ドル。なお、上記の準備高には、中国人民銀行と中央銀行の間で締結された100億元（約15億米ドル）の3年間の二国間通貨スワップ枠は含まれていない。総公的準備高と銀行セクター外国資産を合わせた総外国資産は、2021年11月末時点で48億米ドル。2021年12月、中国人民銀行との通貨スワップ・ファシリティを投入し、2021年末の走行的準備高は31億米ドルに増加すると見込まれる。

図 12：総公的準備高と準備高の充足状況



出典：CBSL

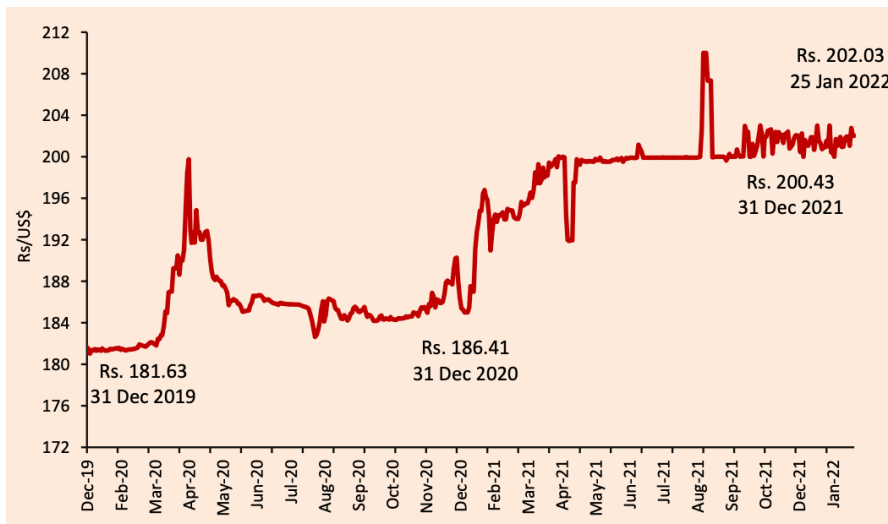
【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

為替レートの動き

インターバンク市場における加重平均スポット為替レートは、引き続き1米ドルあたり200~203ルピーの範囲内で概ね安定的に推移。2021年年間でのスリランカルピーの下落率は、対米ドルで7.0%に限定された。クロス通貨の動きを反映し、2021年中にスリランカルピーは、ポンド、豪ドル、インドルピーに対して下落、ユーロと日本円に対しては上昇。一方、2022年に入りスリランカルピーは2022年1月25日までに米ドルに対して0.8%下落。クロス通貨の動きを反映し、2022年に入ってから1月25日までに、スリランカルピーは、ユーロ、ポンド、日本円、インドルピーに対して下落、ユーロと豪ドルに対しては上昇。

図 13：対米ドルでのスリランカルピーの動き



出典：CBSL

表 4：主要通貨に対するスリランカルピーの動き

通貨	2020年	2021年	2022年1月25日時点 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)
米ドル	-2.6%	-7.0%	-0.8%
ユーロ	-11.2%	1.1%	-0.7%
英ポンド	-6.2%	-6.0%	-0.6%
日本円	-7.5%	3.8%	-1.9%
豪ドル	-11.4%	-1.2%	0.6%
インドルピー	0.0%	-5.5%	-0.5%

出典：CBSL